



ごあいさつ

理事長 杉山 元

平素より、私ども北海道労働金庫に対し格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

現在の北海道経済は、大規模な産業投資や観光の活況など、未来へ向けた明るい兆しが見える一方で、私たち生活者の足元は依然として厳しい状況が続いています。

長引く物価高や光熱費の負担増は、日々の暮らしに直接的な影響を与えており、多くの勤労者やそのご家族が、将来への負担や生活防衛の必要性に直面しています。

また、長らく続いた低金利時代から「金利のある世界」へと金融環境が本格的に移行したことで、住宅ローンや資産形成等、ライフプランへの向き合い方にも大きな転換期が訪れています。

このような環境下で、2025年度は、新たな長期ビジョン(～2035年度)・中期経営計画(2025～2029年度)「ファーストステージ」の初年度として、ビジョンに掲げた「～未来の共生社会をきずく、はたらく人のベストバンク～」の実現に向け、金庫が果たすべき役割として設定した3つの重点戦略、11の個別課題に応じた具体的施策を通じた取り組みを展開しました。

その結果、会員・推進機構と一体となった運動展開により、預金・貸出金や利益金等の計数実績は年度計画を超過する成果を上げることができました。

なお、当金庫を取り巻く環境も、DXの進展、金融サービスの変質・多様な選択肢の広がりや「金利のある世界」の定着など、大きく変化しており、これらの変化に対して迅速かつ適切な対応が求められています。

また、このような変化の時代にあるからこそ、私たち自らも変革し続けながら、会員・勤労者に寄り添い、生涯にわたり安心・安全な生活をサポートするという、ろうきん創立からの変わらぬ想いに立ち返り、人々が支え合う共生社会の実現を目指してまいります。

さて、2026年度は、中期経営計画の達成につながる取り組みを、役職員が一体となり着実に進展させる年度とします。

そのうえで、各取り組みの進捗や環境変化等を踏まえた中間総括を行い、その結果に基づき、中期経営計画の達成と課題解決に向けた実効性を最大化できる3ヵ年(2027～2029年度)を迎えられるよう努めてまいります。

結びになりますが、本誌は、当金庫の経営方針や健全性、社会的な取り組みについて深くご理解いただくために作成した「北海道労働金庫ディスクロージャー誌2026」です。

多くの皆さまにご高覧いただき、皆さまの未来と豊かな暮らしを共に創るパートナーとして歩み続ける当金庫へのご理解を、より一層深めていただけたら幸いです。

2026年7月

C O N T E N T S

ごあいさつ	1
-------	---

ろうきんの理念

ろうきんの理念と基本姿勢	2
--------------	---

北海道ろうきんの概要

2025年度トピックス	4
2025年度業績ハイライト	6
長期ビジョン(～2035年度)・中期経営計画 (2025～2029年度)の概要	8
つなぐプロジェクト for SDGs	9
2026年度事業計画	10
2026年度事業計画における リスクアペタイト	11
社会的責任と貢献活動	12
北海道ろうきんの健全性・安全性	23
リスク管理体制	24
コンプライアンス態勢	27
マネー・ローダリング、テロ資金供与 および拡散金融対策	29
お客様本位の業務運営に関する 取組方針・取組状況	30
業務の適正を確保するための体制・運用 状況(内部統制システム)	32

営業のご案内

預金商品・資産運用商品のご案内	34
融資商品等のご案内	36
各種サービス・業務のご案内	38
主な手数料一覧	40

プロフィール

北海道ろうきんの組織	43
あゆみ	44

ネットワーク

北海道ろうきん店舗・自動機一覧	45
-----------------	----

財務データ

財務諸表	47
資産内容の開示	53
経営指標	55
預金に関する指標	56
貸出金等に関する指標	57
有価証券に関する指標	58
その他業務	59
出資金・ 常勤役員一人当たり・店舗当たり預金・貸出金	60
連結情報	61
自己資本の充実の状況	67

索引

開示項目一覧	85
--------	----